

■委員提言の抜粋

委員提言の抜粋を掲載します。

■委員提言の抜粋

すずき ちから
鈴木 力（委員長）

財政改善策の糸口として

- ① 長・短期公債費削減計画書の作成
- ② 事業部門毎の長短期事業計画書の作成
- ③ 市の資産台帳の作成
- ④ 各事業部門・各協議会事業などの類似事業見直計画の作成
- ⑤ 中短期人員削減計画書の作成
- ⑥ 退職手当基金積立計画書の作成
- ⑦ 効率の良い公債費の研究と検討
- ⑧ 部門毎の一般経費削減実施

を実行すること。

いとう かずまさ
伊藤 一正（副委員長）

- ① 「内部評価の道筋をつけること」
- ② 「職員の意識改革」を行うこと
- ③ 「税の戦略的な使い方」として一番手っ取り早い企業誘致を進めること

たぐち よしふみ
田口 好文（副委員長）

- ① 人件費の削減を実行すること……………住民一人当たりの人件費を、県下 21 市の加重平均に近づけること 目標 100,000 円→73,000 円
- ② 意識改革を実行すること……………改革なくして発展なし。
- ③ 官民一体となって行政を進めること……………市民と一緒にまちづくり。

かち よしひろ
加地 義弘

- ① 行財政改革に対して背水の陣で臨む事の出来る「人」を育てること
- ② 個々の「意識改革」を目標とし、安心して暮らす事の出来るまちづくりに尽力すること

かつの やすかず
勝野 安和

- ① 民間に任せられる現業は出来るだけ民間に任せること
- ② 第三者委員会など公民に対してチェックする機能を果たすシステムを作ること
- ③ 中津川市独自の政策を持って、税収等の増加を計り、その不足を補う独自の互助システムを作り上げること

かに ちから
可児 力

- ① 各部（局）長、所長、理事等が縦割り行政の枠を越えて改革を進めるしくみを作ること
- ② 市長と管理職、職員は意識と価値観を共有し、市長や管理職はもっと多く現場を回ること
- ③ 職員の皆さんは改善を自主的に継続して行い、管理職はその環境と条件を与え継続して行うよう指導すること

かみや れいこ
神谷 玲子

- ①中津川市民にとって、この事業の必要性、事業の内容をより一層検討すること
- ②女性職員については、もっと話し合いをして、男性にはない発想や、仕事に対する熱意、工夫などで行政改革をリードすること

くらの ひとし
倉野 仁

- ①合併のメリットを見出して、「地域独自の魅力」を生かすこと
- ②市民も巻き込んだ「自助力」、各種団体や民間企業などの「互助力」、市役所の「公助力」をリンクさせ、牽引的役割を担っていくこと
- ③「ビルドアップ」を生み育てる環境を構築すること

まかい じゅんじ
酒井 隼司

- ①歳出キャップ（枠決め）と財務リストラを決定すること
- ②税収を堅持すること（最低：現状維持）
- ③企業会計による資産管理（財産）と会計基準の統一化を図ること
- ④起債などのデータの共有化を図ること
- ⑤徹底した現場主義を持つこと
- ⑥市民 100 人に対し職員 1 名の原則を考慮し、来るべき市民人口減に対し、行政業務に支障の出ないよう今から人事、組織のあり方を検討、中期計画に反映させること
- ⑦そのためには次世代型通信技術の拡大に向け、誰が何と言おうが光ケーブルの敷設事業を合併特例債の期間内に完了させること
- ⑧市しか出来ないライフライン事業（病院、上下水道事業等）については赤字でも堅持する財政支援のあり方（繰出し基準）を示し、その姿勢を市民に対し相互理解を取り付けること
- ⑨職員各自が現状の財政逼迫を実感・共有すること（議会も同じ）
- ⑩行政視察をすること

しんどう ゆきよ
進藤 幸代

- ①市長の認識を共有し、それぞれの立場の業務に改革の眼を向けながら、実務を遂行していくこと
- ②事務改善は最も大切な行政改革の一端だから、そのための手法として 2 つの提言
「遊び心を忘れず、楽しんで行革を！」
「市民にも出番を作ること」

そが おきと
曾我 沖土

- ①日々、内部で評価や検証をして合理化、改善をすること
- ②意識改革として、全職員の意識を市民、民間本位に変えること
- ③組織改革として、個々の職員が全力を出せるような組織へと早急に変革すること

たかみ ゆきひさ
鷹見 幸久

- ①行政内部での評価を機能させ、SCRAP AND BUILD も内部で行い、自浄能力のある市役所にすること
- ②行政評価シートのシステムをもっと簡素化し、財政のシステムと連結するなど有効に機能させること

たくち かずみ
田口 一巳

- ①事業の優先順位を付けること
- ②堅実な事業計画を示しながら、市民の理解を得ること
- ③市民と市役所の「してもら側」と「してやる側」という立場を超え、一緒になって地域を守り育てていく協働の精神を持つこと
- ④そのためには、市役所職員の強力且つ的確なリーダーシップを発揮すること
- ⑤議会においても、事業の途中経過や遂行の方法についてもしっかりと気配りをすること

はら なおひろ
原 直尊

- ①早期に健全な財政状況になること
- ②財政状況及び行政改革に係る職員の意識改革を行うこと
- ③情勢の変化等を踏まえた、市全体のきめ細かいマネジメントサイクルを構築すること
- ④職員一人ひとりのモチベーション高める、今以上の人事評価制度を再構築すること

ふるた きんご
古田 三五

- ①緊急性の無い事業の縮小・廃止を行うこと
- ②市民に必要な負担をお願いすること
- ③本当に市民に役立つ施策を実施していくこと

もりもと さちえ
森本 幸恵

- ①市民の意識の向上を図ること
- ②働きやすい、市民のための市役所となるよう力を注ぐこと

やすえ きとこ
安江 里子

- ①今までの事業や仕事のやり方に対し、今一度違った目で見ること
- ②農業の衰退を食い止める策を検討し、行政と関連機関、消費者をも含めた将来に続く農業を築くこと

やまぎき たかお
山崎 孝生

- ①危機意識をもつこと
- ②コスト意識をもつこと
- ③切磋琢磨の意識をもつこと
- ④民間的意識・市場意識のもとで市役所という大きな企業を運営していくこと

よしむら けんたろう
吉村 堅太郎

- ①徹底的に無駄を省くこと
- ②行政をいかに効率的に行うかを常に考えること
- ③そのためには前例主義と縦割りのセクショナリズムを廃すること
- ④全ての情報は庁内で共有すること
- ⑤事業や施策を庁内横断的視野で実行できる体制を作ること
- ⑥「何が市民生活に直結し、優先順位が高いか」を考えながら出来るだけ少ない予算で大きな成果を上げる
- ⑦限られた予算でいかに実績を上げたかで職員や課や部を評価すること
- ⑧市議会は、行政の無駄を省くために予算審議の段階から徹底した検証と監視を行うこと